

谷ノ上朋美ひとり芝居

「ワタクシ、ゴト」

DVを「自分ごとではない」と思っている人が「わたしのことかも」と思うかもしれない一人芝居



あなたがあなたでいることを諦めないで

日時 6月28日（日）14:00から15:30

場所 守口市役所 1階市民会議室103・104

定員 先着80名（申込み必要）



申込 人権市民相談課 電話 06-6992-1512

2日前までにオンライン申請が電話で

予約状況によっては、当日受付することもあります。（予約優先）

主催 守口市・守口市教育委員会・守口市人権協会

参加費無料



【あらすじ】

そこは天国の図書館。
どこまでも続く真っ白な本棚に、真っ白な本が延々と並んでいる。
女はふと足を止め、無数の本の中から一冊を取り出す。
表紙に浮かび上がる文字
「彼女たちの証言」
そこには、さまざまな物語が綴られていた。
女は椅子に座り、その本を静かに読み始める。

朗読劇のようで朗読劇ではない。独特な世界観で表現する一人芝居

【谷ノ上朋美 プロフィール】

俳優・講演家

「いのち」「平和」「人の尊厳」をテーマに、一人芝居と講演活動を全国で行っている。
短期大学卒業後、人権をテーマにした一人芝居の先駆者・新屋英子氏に師事し、全国巡演に参加。
その後、身近な人の役に立ちたいとの思いから舞台を離れ、30代で看護師免許を取得。ALS、筋ジストロフィー、がん患者の看護に携わる中で、自身も甲状腺がんを経験し、「生きるとは何か」を深く問い直す。
看護師退職後は、漢方不妊カウンセラーとして西洋医学・東洋医学・心理学を統合したカウンセリングを実践し、相談件数は2万件を超える。
2017年より演劇活動を再開。自身の体験と、医療やカウンセリングの現場で出会った声をもとにいのち・平和・人権をテーマとした一人芝居を創作し、全国で公演を続けている。

男女共同参画週間

平成11年6月23日に施行した男女共同参画社会基本法の目的、基本理念に対する理解を深めるため、毎年6月23日から29日までを男女共同参画週間と定め、全国でさまざまな啓発事業がおこなわれています。

困難な問題を抱える女性への支援

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づき、性暴力やDV（配偶者からの暴力等）、貧困など様々な困難な問題に直面している女性への支援をする女性支援相談員2名を人権市民相談課に配置し、支援を必要とする女性に対し相談窓口を開設しています。

今年度4月から女性相談支援員として配属されました野崎と伊藤です。お悩みごとをお持ちの方は「まだ話がまとまってないけど…」「こんなこと話してええんかな…」など迷わず、普段誰にも言えないことでもお話しいただけます。私たちにお聴かせください。共に考えます。

相談員 女性相談支援員 野崎・伊藤

女性支援相談員による特設相談

日時 6月28日（日）10時から12時
場所 人権市民相談課（5階）
相談員 女性相談支援員 野崎・伊藤

女性のための悩み相談

第1火曜日から第4火曜日 13時から16時
守口市役所 南エリア5階 相談室507
女性問題専門心理カウンセラー 麓
※予約・問い合わせ
人権市民相談課 電話 06-6992-1512